

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	文学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部における担当授業数および職務分掌の公平化・平均化による研究専念時間の確保と増加を図る。	→ 「文学部各種委員等分担表(数年分)」、「大学執行部役職者一覧(数年分)」、「専任教員の担当授業時間」、「科研費申請数」、「入試問題作成・採点業務分担」	B	B	B	B	/
2. 文学部の授業実態に合わせた教育設備・機器の充実化を行う。	→ 「文学部本館・F号館のAV機器設置状況」、「文学部本館・F号館のコンピューター端末設置状況」、「コンピューター設置状況(他大学との比較)」	A	B	C	B	/
3. 外部研究資金獲得に関する実態調査と、応募促進のための仕組み作りの検討を開始する。	→ 「科研費申請応募・採択状況」	C	B	B	B	/
					☆	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教授の担当時間数は約12時間、准教授は約11時間となっており、平均化が図られているといえる。しかし、教授で18.8時間という例もあり、さらなる改善を行う必要がある(大学データ表3「専任教員の担当授業時間」参照)。
目標2	講義用のノートパソコンを一部更新した。
目標3	外部資金の獲得に関しては、科研費の採択率が2011年度の約44%から2012年度約62%に上昇した(下表および大学データ表24「科学研究費の採択状況」参照)。今後は「応募促進のための仕組み」を検討し、さらなる向上を図ることが必要となる。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【文学部】			単位	2009	2010	2011	2012	2013	備考
指標1	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、 授業補佐の採用数	教学補佐	人	40	42	44	43	43	他に、契約助手2 (2005、2006、2007、2008、2009、 2010、2011、2012、2013年度)
		実験実習 指導補佐・ 教務補佐	人	7	7	8	8	7	
		授業補佐	人	6	7	6	8	13	
指標2	専任教員の担当授業時間(平均)	教授	時間	11.4	12.6	12.5	12.4	11.8	45分をもって1時間に換算
		准教授	時間	10.0	14.0	11.8	11.2	12.7	
		講師	時間	—	—	—	—	—	
		助教	時間	—	—	—	—	—	